

大館市都市計画マスタープラン

(終)

景観形成計画



現況

電柱

道路にせり出し、通行の邪魔となっている。また、電線がクモの巣状に張り巡らされ、劣悪な景観を創り出している。

街灯

かつては街並みを統一していたが、今は色あせた感が強く、維持管理も悪い。また、街路樹と重複している。

街路樹

一部を除き貧弱である。また、虫や落葉が迷惑の原因となっており、ところがある。

ごみ箱

デザインの良くないごみ箱が見受けられる。また、鳥や犬に荒らされ、散乱している場所がある。

看板

非常に複雑で、お互いに効果を打ち消しあっている。また、街並みとの調和も見られず、大きく、派手なデザインが多い。

塀

市街地はブロック塀が多い。また、生け垣は手入れが悪く、通行の邪魔になっているものがある。

住宅地

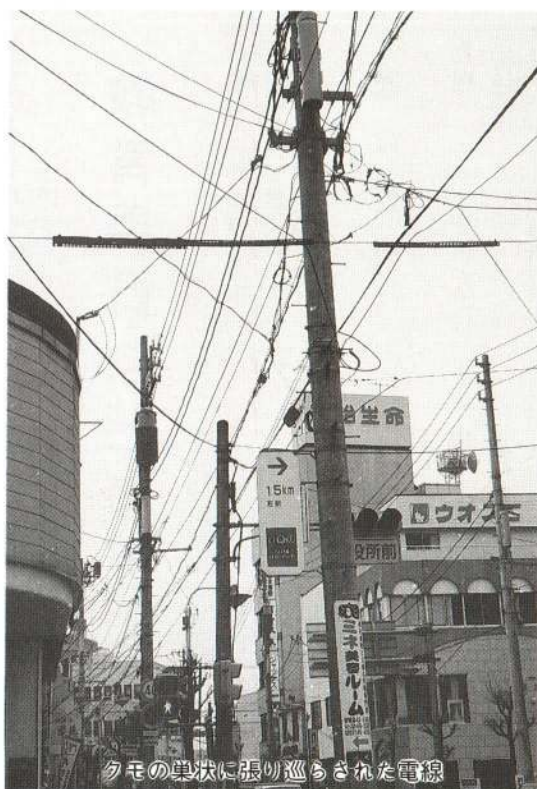
敷地いっぱい建てられた住宅が多く、植栽が少ない。外壁の色も統一性がない。

商店街

アーケードによって上下が分断

公共施設

されている。特に上部のグレードが低い。
火災復興の緊急性のためか、無個性で機能重視の、劣悪なデザインの建物が多い。



クモの巣状に張り巡らされた電線

整備の基本方針

固有の風土を

視覚面で強調・表現する

固有の地形、地勢、気候、あるいは歴史性を十分に認識し、視覚面で強調、表現していく。

特に、人間本意、市民生活重視の発想で、子供から高齢者までの様々な歩行者の視点を重視する。

市民の意見を

積極的に導入する

市民の意見を尊重し、積極的に

取り込んでいくため、大館独自の市民参加の在り方を確立し、市民が誇りに感じられる街並みを創り出していく。

専門的デザイン技術の

導入を図る

大館固有の風土、資質をデザインの要素として認識し、街並みに生かしていくために、専門的なデザイン技術・知識を積極的に導入し、個性的で、大館固有の空気になじむ景観を創り出していく。